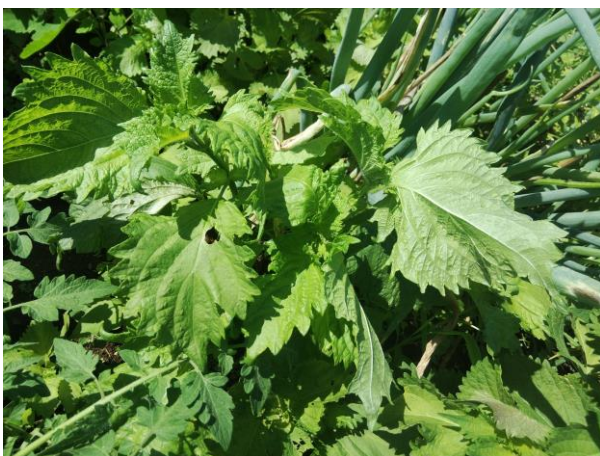


〈シソあれこれ〉

毎年こぼれだねで畑のあちこちにシソが出る。今年も草の中に赤いシソが目立つようになった。が、なんかおかしい！確かに赤い葉なのだが、なんとなく青っぽい。隣のシソは青みの混ざらない深紅、葉は縮緬状。どうやら交雑したらしい。お相手は、多分エゴマ。以前栽培したことがあり、毎年こぼれだねであちこちに出てくる。そのエゴマと赤ジソが交雑したらしい。調べてみるとシソ科の植物は盛んに交雑するとのこと。あるサイトでは「シソ科は助平で油断するとどんどん交雑してしまう」とまで書いてあった。本人にとっては子孫を残したいための戦略なのであって、“助平”



扱いは心外だろうが、言い換えればそれほど柔軟性を持った生き方なのだ。最近では西洋タンポポと関東タンポポの交雑も多くなったとのこと。西洋タンポポに押され気味な在来種も、それなりに知恵をつけて生き残る術を探っているのだろう。



ちなみに、青ジソはどうかと調べてみると、見た目は何も変わらないのに、裏が赤っぽくなっている青ジソの株があった(右)。これは赤ジソとの交雑かもしれない。みんな生きることに必死なのだ。彼らにとって、“純血”を守るよりも“シソ科”という大枠での仲間を守ることを優先した結果なのかもしれない。さて、人間世界はどうだろうか？